

報道関係者 各位

2016年8月17日
公益財団法人日本デザイン振興会

2016年度「東京ビジネスデザインアワード」

11テーマ発表・デザイナーからのデザイン提案募集開始

板金、パイプ、木材、放香技術等、ものづくり企業の「技術」と「素材」のテーマが出揃う

東京都が主催し、公益財団法人日本デザイン振興会が企画・運営をおこなう「東京ビジネスデザインアワード」は、東京都内の中小企業の持つ技術や素材等をテーマに、新規用途開発とビジネス全体のデザイン提案を募るコンペティションです。2012年に開始し本年度で5回目を迎える本アワードは、これまでにマッチングした企業とデザイナーによる提案実現化事例も増え、販売商品が国内市場はもとより海外でも好評を博すなど、実績を重ねています。

中小企業の持つ「高い技術」や「特殊な素材」をコンペティションの「テーマ」として募集し、それらの新規用途開発を軸としたビジネス全体の「提案」とのマッチングが成功した事例については、デザイナー、工学博士、弁理士、マーケティング専門家等により構成された審査委員、事務局によるアドバイス（商品開発、知財戦略、デザイン契約、販路開拓）を通じ、事業化・商品化・販路拡大へと結びつけます。

今年も都内の企業からテーマ募集をおこない、本日テーマ全11件を発表、同日よりデザイナーからの提案応募の受付を開始します。募集期間は8月17日から11月4日までとなります。

過去4年間で実現化事例も増え、その実績が各方面から注目を集めています。2012年度テーマ賞の大洋塗料株式会社の「マスキングカラー」は、日本国内で累計2万本を販売するヒット商品となり、海外にも販路を広げるなど、世界的にも注目を集める成功事例となりました。

本アワードは、地方自治体や金融機関等からも注目が集まっており、デザイナーにとっても今後の可能性を広げるチャレンジの場として認知され、毎年多くの方々にご応募いただいています。本年度も沢山の応募を期待しています。

2016年度 東京ビジネスデザインアワード

- デザイン提案募集期間：2016年8月17日（水）～11月4日（金）
- 応募資格：中小企業との協業に意欲のある、国内在住の個人またはグループ
- 応募費用：無料 ※ただし提案の制作に伴う実費等は応募者負担
- 賞・賞金：最優秀賞（1点） 賞金100万円
優秀賞（2点） 賞金各20万円
テーマ賞（1テーマにつき1点）
- 主催：東京都
- 企画・運営：公益財団法人日本デザイン振興会

参考：2015年度 東京ビジネスデザインアワード
マッチング事例



テーマ：羽がないのに攪拌できる「遠心式攪拌技術」
エムレボ・ジャパン株式会社 [港区]

<デザイナー向け説明会開催>

応募を検討しているデザイナーを対象に、テーマ各社がプレゼンテーションを実施する説明会を開催します。

日時：9月5日（月）、6日（火）18:00～20:00

会場：東京ミッドタウン・デザインハブ

提案：遠心力を活かした攪拌ツール [テーマ賞・最優秀賞]
小関隆一 (デザイナー/RKDS)



詳細は東京ビジネスデザインアワード公式サイトをご覧ください。

www.tokyo-design.ne.jp/award.html

※本年度テーマ11件は次頁をご覧ください。

※これまでの受賞提案などのビジュアルデータをご用意しています。下記までお問い合わせください。

一般からのお問い合わせ先：東京ビジネスデザインアワード事務局（公益財団法人日本デザイン振興会）
担当：廣嶋、鈴木 E-mail: tokyo-design@jidp.or.jp Tel: 03-6743-3777

報道関係のお問い合わせ先：株式会社オズマピーアール

担当：松林、石塚、鈴木 E-mail: jdp@ozma.co.jp Tel: 03-4531-0214

2016年度 東京ビジネスデザインアワード テーマ概要 (11件)

各テーマの詳細は、東京ビジネスデザインアワードのオフィシャルサイトをご覧ください。

<https://www.tokyo-design.ne.jp/award.html>

1 水なしで肌にはれる「特殊転写シール技術」 株式会社コスモテック (立川市)

摩擦や水に強い、「水を使わず簡単に貼って剥がせる」転写シール



「特殊肌用転写シール」はこれまでにない“水を使わずに簡単に貼れる”感圧型の転写シール。水なしで簡単に貼れ、汗や水などでも剥がれず、剥がしたい時にすぐ剥がすことが可能。ユーザー参加型の各種イベントや、日本のコンテンツ産業、バーコードを印刷してのセキュリティ管理など、当製品の技術が活用できると期待している。デザインで付加価値を高め、日本のみならず海外にむけて、広く展開していきたい。

2 高性能なスキャナとプリンタを掛け合わせた「リアルシート出力技術」株式会社日光プロセス (墨田区)

デジタルカメラで撮影しても表現できない“素材感”を忠実に再現



凹凸のある素材も忠実に読み取ることができるリアルスキャナーで取り込んだ画像データを、紙等の素材にUVインクジェットで出力することで、まるで実物のような表現ができる印刷技術。金属、木材等、紙以外の素材にも印刷できる。素材感を忠実に再現した繊細な表現を可能にする技術にデザインをプラスすることで、手にとりたくなるような、これまでにない展開を進めたい。

3 金属の板材を利用して流通に展開する「老舗板金技術」 株式会社丸和製作所 (昭島市)

「曲げ、溶接、磨き」などの金属加工ノウハウを駆使した新事業展開



鉄・アルミ・ステンレスへの曲げ・溶接・磨きなどの金属加工ノウハウを駆使して、洗練された高付加価値商品の新事業展開を行っていききたい。一般的に金属には、金属独自の輝き、手にしたときのひんやりとした感覚、曲げたときの感触等の特徴がある。その特徴を活かし、さらに同社の板金加工の技術力を組み合わせることによって、これまで培ってきた流通ルートを活かした新しいビジネスモデルを考えていききたい。

4 地域ネットワークによる複合型の開発「パイプ加工・板金技術」 筑波鉄工株式会社 (大田区)

鉄、ステンレス、銅など幅広い素材でパイプ板金加工



主に大型建設機械の油圧配管を製造しており、材料の納入、切断、曲げ、溶接、塗装まで一貫して請け負っている。材料は鉄、ステンレス、銅など幅広く、大きさはΦ10～114.3mm、曲げ加工後に穴あけ、溶接加工など精度の高い加工が可能。大田区のネットワークを活用した他企業の技術（メッキ、塗装、その他加工）をプラスした製品の開発なども実現可能。デザインの力で建機以外の分野への広がりを目指していきたい。

5 東京の杉を使った地産地消の「木材加工技術」 細田木材工業株式会社 (江東区)

環境に配慮した杉の間伐材を有効活用し、社会貢献を目指す



主にウッドデッキ、フローリング、造作材などの内装・外装材を製造しているため、カウンター等の大きな板物（巾1m、長さ5m程度まで）の二次元加工を得意とする。加工から塗装まで社内で一貫してできることと、都心に近い工場のため搬送等に優位性がある。最近ではレーザー加工機も導入し、細かいグラフィックの焼き付けや切削も可能となった。東京多摩地域の間伐材等を有効活用することで地域創生を通じた社会貢献につなげたい。

6 一貫生産システムが打ち出す瞬間吸水「1秒タオル」 ホットマン株式会社（青梅市）

東京・青梅で育まれた伝統的な絹織物の技術から生まれた独自技法の高品質タオル



独自製法により、薬剤に頼ることなく抜群の吸水性を実現した安心安全な綿100%の「1秒タオル」は、生産時に付与した糊剤や油剤、そして綿花が元々持つ天然の油脂分や不純物を徹底的に除去し、綿本来の風合いと抜群の吸水性を引き出したタオル。製織（織り）、染色、縫製などすべての工程を自社で行う一貫生産の仕組みを構築している。この高い品質を、より多くの人々に伝えていくため、新しい展開を進めていきたい。

7 必要な時だけ表示できる「透明導光パネルとダブルイメージ印刷」 有限会社三陽工芸（あきる野市）

グラデーション階調を持つ写真やイラストなど、より柔軟なイメージの表示が可能



「透明導光パネル」は、パネル状、フィルム状の導光板で、非照光時は背景を遮らない透明性、透過性を持つ。シルクスクリーンによって印刷された図像を光源の発光色で表示。「ダブルイメージ印刷」は1枚のパネル状の印刷物に色彩の補色の働きによる切り替えによって、2種類の図像を切り替えて表示させる事ができる印刷・表示技術。これまでの領域にとらわれない、これらの技術の新しい用途開発に積極的に取り組んでいきたい。

8 聖書の製本により培った「三方金・三方銀付加工」 株式会社星共社（文京区）

17世紀ヨーロッパから伝わる書籍の断裁面に金付を行う加工技術



書籍の天・地・小口（断裁面全て）に金付をする加工技術で、書籍や紙製品などの差別化、ホコリや紙の変色・収縮を防ぎ、製品の長期保存が可能となる。純金、メタリック金、銀、さらには色箔やホログラム箔など用途によって使用する箔を選ぶことができ、世界でも独自の製品・サービスを市場に提供可能。新事業により次世代へつなげる高付加価値製品の創出と、それによる技能の承継を目指している。

9 精巧なプレス絞りと旋盤切削の複合加工技術 稲元マーク株式会社（江東区）

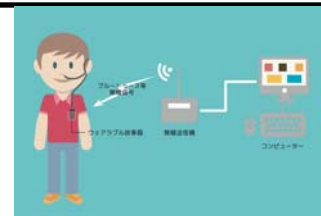
アルミニウム板を絞って、旋盤切削し、金属の特徴を活かした美しい部品をつくる技術



金属材料のプレス絞り、旋盤切削を中心に、ヘアライン加工、ダイヤカット加工など、長年の経験で培った多彩な加工技術を駆使し部品を作り上げる。それら技術を組み合わせ、ひとつの加工技術では実現できない加工も得意とする。一貫生産可能なため、コスト削減、工程間の調整も短期間かつ柔軟に行うことができる。強度があり、高級感を与えられる金属の特徴と、同社の技術力を活かした事業展開を進めていきたい。

10 体験と連動させる「ウェアラブル放香技術」 プロモツール株式会社（文京区）

香り製造技術×最新の無線通信機器を組み合わせた全く新しい放香技術



香り製造技術と最新の無線通信技術を融合させたウェアラブル放香器は、市場にある一般的な芳香器と違い、映画館や劇場等で使用しても匂いが空間に拡散せず、身に着けている観客のみが香りを感じることができる。胸ポケットに入る程度の小型サイズで、受信した無線信号で対応する香りを選択し、人の鼻先にごく少量の香りを放出する。これまでに無い、新しいウェアラブル放香技術でさまざまな市場、用途開発を進めていきたい。

11 触感やぬくもりを基材に与える「フロッキー加工」 有限会社伸栄プラスチック（八王子市）

断熱、遮光、摩擦制動、結露防止等、防音、吸音等、様々な機能性を形を選ばず与える



静電植毛とはクローンの法則による静電力を利用し、あらかじめ接着剤を塗布した基材に短繊維（パイル）を付着させる技術である。この加工により、断熱、遮光、摩擦制動、結露防止、防音、吸音等、さまざまな機能性を形を選ばず与えることができる。これまでの領域をこえて、機能性と加工技術の特色を活かした新事業の展開を進めていきたい。

Press Release

※参考資料：「東京ビジネスデザインアワード」のこれまでの提案実現化事例

「MASKING COLOR」 2012年度 テーマ賞

太洋塗料株式会社 [大田区] × 小関隆一 [RKDS]

乾くと剥がせる保護膜を作るための産業用塗料を、一般向けの「塗って剥がせる水性絵の具」として発売。これまでになかった新感覚の塗料として話題を呼びヒット商品となる。2015年にマスキングカラーPROを発表。 www.maskingcolor.com



「pipegram」 2013年度 最優秀賞・テーマ賞

武州工業株式会社 [青梅市] × 小関隆一 [RKDS]

自動車や医療器具などのパイプ部品を製造してきた企業が初めてのBtoC商品にチャレンジ。細い曲げパイプをシリコン部品でつなぎ合わせる事で構造物を作る玩具。緻密な加工技術と多品種少量生産の強みを活かしている。 www.pipegram.com



「ひきよせ」 2013年度 優秀賞・テーマ賞

株式会社ラ・ルース [渋谷区] × 山田佳一朗 [KAICHI DESIGN]

元々企業が持っていた伝承の特殊技術を活かした木製食器とそのブランド。現在、百貨店やセレクトショップ、ネットショップ等で販売中。いままで隠してきた技法をあえてブランディングに活用。国内の他海外も展開中。 hikiyose.jp



「KANAORI」 2013年度 優秀賞・テーマ賞

石川金網株式会社 [荒川区] × 松田龍太郎、中西香菜、土屋勇太

銅や真鍮、ステンレスなど様々な素材と、様々な織り方ができる技術を活かした、新しいマテリアル開発とブランディング。テキスタイルのような素材を販売していくビジネス提案。BtoB、BtoC、両方のビジネス的發展が見込まれる kanaori.tokyo



「Twinkle Piece」 2013年度 テーマ賞

株式会社新興グランド社 [北区] × 津留礼子、津留敬文 [MEDIUM]

点字印刷技術から発展した加工技術、大量に印刷できる利点を使って、インテリア用品に展開。疑似ラインストーン印刷の施されたピースを組み合わせていくことで、モビールや照明などを作るキットを販売していく。 www.twinklepiece.com



「FROM NOWHERE」 2014年度 最優秀賞・テーマ賞

カドミ光学工業株式会社 [日野市] × 三浦 秀彦、久保井 武志 [クラウドデザイン]

光学ガラスの特徴を活かした無宗教的に祀る「祈りの道具」。少子化や核家族化に伴って墓や仏壇を取り巻く環境が変わる中、現代のライフスタイルにあった新しい供養の様式を提案している。 www.fromnowhere.jp

